

だ い ず 通 信

令和7年 第4号

収穫作業は、大豆の成熟具合と天気を見極め適期に行いましょう。
汚損粒防止のため、収穫前に雑草や青立ち株の抜き取りを徹底しましょう。

1 生育状況

- ・県生育観測ほの9月10日時点の生育は、草丈・主茎長ともに平年よりかなり長く、着莢数は平年より少なかった。
- ・生育の旺盛なほ場が多く、一部のほ場で倒伏がみられる。

表－1 生育調査結果

地点名	年度	生育ステージ				出芽 本数 (本/㎡)	9月10日			
		は種期	出芽期	開花期	成熟期		草丈 (cm)	主茎長 (cm)	葉数 (枚)	着莢数 (莢/本)
県生観 十和田市 赤沼	本年	6月5日	6月14日	7月23日		19.5	117.7	76.7	13.3	28.7
	平年	6月1日	6月10日	7月29日	10月12日	17.4	98.1	58.1	13.7	30.8
	差・比 (日) (%)	遅4日	遅4日	早6日		112	120	132	97	93
晩播狭畦 七戸町 舟場向川原	本年	6月18日	6月23日	8月3日		24.3	111.1	76.0	12.9	35.6
	平年	6月25日	7月2日	8月9日	10月19日	27.6	93.0	56.0	11.9	23.0
	差・比 (日) (%)	早7日	早9日	早6日		88	119	136	108	155

2 今後の管理

(1) 雑草・青立ち株の抜き取り

- ・雑草及び青立ち株は、汚損粒の発生原因となるので、収穫前に必ず抜き取る。

(2) 収 穫

- ・収穫適期はほ場によって異なるため、大豆の状態をよく観察するとともに、速やかに収穫できるよう収穫機の清掃やフレコンバックの準備等を行う。
- ・コンバイン収穫では、子実水分 20%以下、茎水分 50%以下に低下した時期が適期である。
- ・茎水分が 50%以下の目安は、茎を爪でこすった時に、表皮が乾いてむけない状態になった時である。
- ・土かみによる汚損粒の発生を避けるため、無理に地際まで刈り取らない。
- ・収穫時間は 10 時～16 時頃が適しており、露のある早朝は避ける。

3 適期収穫で発生を防止できる障害粒

(1) しわ粒



【原因】子実肥大が不十分又は収穫期の吸湿と乾燥の繰り返しにより発生する。

【対策】成熟具合を見極めて適期に収穫を行い、収穫後も急激に乾燥させない。

(2) 紫斑粒



【原因】開花 20～40 日頃の薬剤散布で防除できるが、刈り遅れや成熟期の降雨により発生が増加する。

【対策】成熟具合を見極めて適期に収穫する。

(3) 汚損粒



【原因】収穫した子実に、大豆や雑草の茎汁や土が付着して発生する。

【対策】① 青立ち株や雑草は、収穫前に抜き取って除去する。
② 降雨後や、朝露や夜露のある早朝や夕方は収穫しない。
③ 土のかみ込みを避けるため、収穫作業は丁寧に行う。
④ 倒伏しているほ場は別刈りし、他の収穫物と混ぜない。

4 汚損粒発生の原因や収穫の妨げになりやすい雑草



(左)イヌホオズキ (右) イヌホオズキの子実



アレチウリ



タデ類



ツユクサ



アメリカセンダングサ